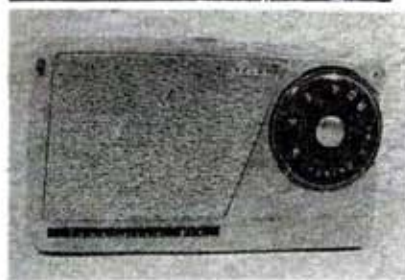


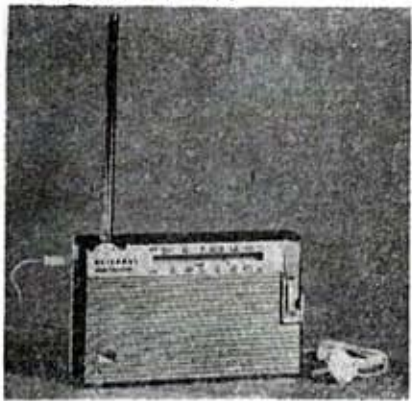
新製品紹介

ラジオ



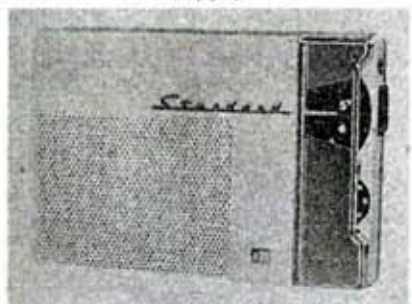
イスターTRラジオ

型式 TR-603 型、日立のトランジスタを使用した6石 TR ラジオでその主な規格は受信周波数帯:535~1695kc, 電界強度:0.5mV/m, 出力:無歪70mW, 最大120mW, アンテナ:フェライトコアアンテナ自蔵, 電池:BL-006P(9V), スピーカ:2 $\frac{1}{2}$ " P. D. S., 寸法:131×36×76mm, 重量:330g, 正価:9,800円



ナショナル2バンドTRラジオ

型名 EA-175型, 主な規格は受信周波数帯:BC535~1605kc, SW3.9~12Mc, アンテナ:8段伸縮ロッドアンテナ(1m), 電源:4AA 1個, スピーカ:2 $\frac{1}{2}$ " P. D. S., イヤホン:クリスタルイヤホン2個使用。



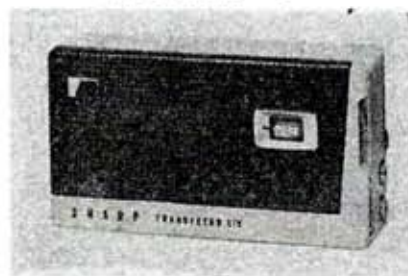
スタンダードのTRラジオ

型式 SR G24 フォノ端子を設けてあり AC アダプタで電灯線を電源としても使用できる, 主な規格は受信周波数帯:535~1605kc, 使用トランジスタ:HJ-23D×1, HJ-22D×2, HJ-15×2, HJ-17×2, 1N34A×1, B-2B×1, 感度:極微電界級, 無歪出力:100nW, アンテナ:フェリスティックア

ンテナ, スピーカ:3" P. D. S., 電源:単4個, 寸法:117×172×28.5mm, 正価:13,500円。

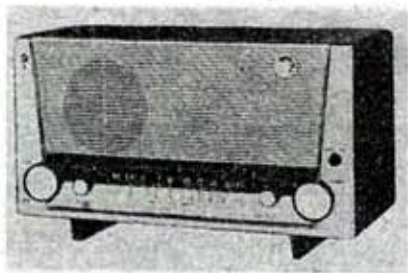
シャープのTRラジオ

プリント配線を使用したポケット型で主な規格をあげると受信周波数帯:BC535~1605kc, 感度階級:極微電界級, 無歪出力:50mW, 電源:BL-006P(9V)1個, スピーカ:2 $\frac{1}{2}$ " P. D. S., アンテナ:ダストコアアンテナ自蔵, 寸法:113×66×33mm, 型式:TR-182 型, (大阪市阿倍野区西田辺1-232 早川電機工業KK)



シャープの2バンドスーパー

ジャンを垂直型にし,マジックアイに点滅スイッチを採用したもので主な規格は受信周波数帯:BC535~1605kc, SW3.9~12Mc, 使用真空管:12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 19A3, 12ZE9(同調指示管), 電源:100V50~60% 25VA, 出力:1.2W, スピーカ:5" P. D. S., アンテナ:フェライトコアアンテナ, 室内アンテナ自蔵, 寸法:230×400×210mm, 型式:6N178型。



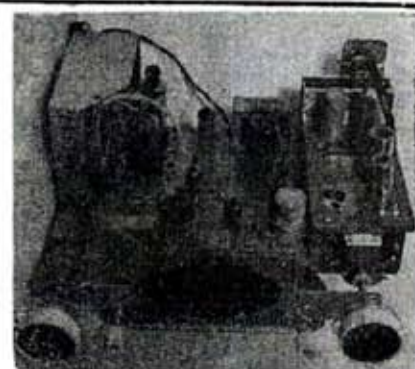
テレビ

フルタカのテレビ・キット

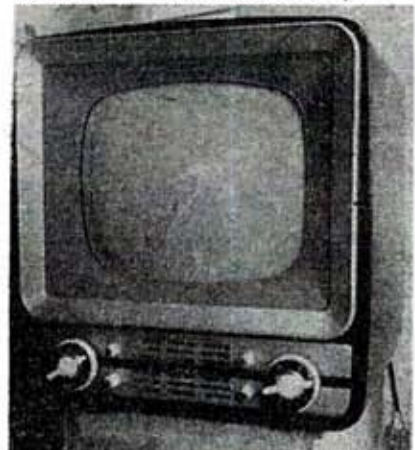
型式 FT-58型, 全真空管ブラウン管にマツダを使用している, チューナ:4BC8, 5J6, 映像:5U8 使用3段, 音声リミッタ:6CS7, 検波:3DT6, AFC 位相弁別にセレン採用, 電源方式:600mA 完全トランスレス, スピーカ:6×4" 楕円型前面方式, 音質調整, 輝度調整, 垂直水平同期のツマミを前面に配してある, 正価:30,900円。

ユニバース14" TVキット

型式 T14-320 型, 超遠距離用として完全トランス電源方式を採用してい

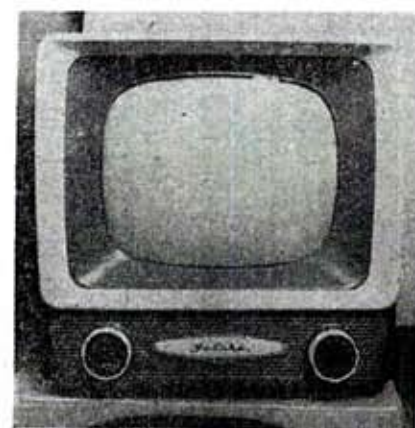


る, 主な規格をあげるとチューナ:11チャンネルカスコード型, 中間周波増幅:映像中間周波3段増幅, 3.2Mc, 水平同期回路:鋸歯状波, AFC 回路:尖頭値 AGC, 音声検波回路:ロックドオシレーション, (大阪市城東区関目町2-52 浦川電機工業KK)



ユタカの14" テレビ・キット

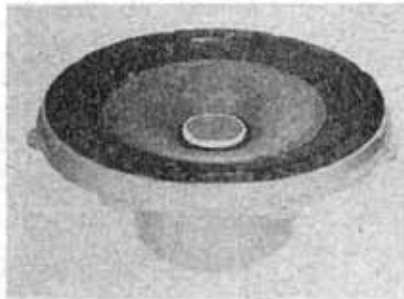
前面スピーカ方式を採用し, ブラウン管真空管は日立, チューナはアルプス, コンデンサはエルナ, コイルは3Qをもちいてある, 型式:S 型, 正価33,400円, (東京都台東区長者町1-4 ユタカテレビKK)



パイオニアのHi-Fi スピーカ

型式 PIM-12, 3ウェイとしたもので低音と中音はメカニカル2ウェイと

し高音はコーン型トウィータで指向性を良好に改善したもの。主な規格はVCインピーダンス：16Ω，最低共振周波数：40~50c/s，再生周波数：30~20,000c/s，最大許容入力：15W，音圧レベル：102dB，総磁束：ウーファ142,000 マックスウエル，トウィータ14,000 マックスウエル，磁束密度：ウーファ 10,200 ガウス，トウィータ 10,600 ガウス，重量：4.8kg。



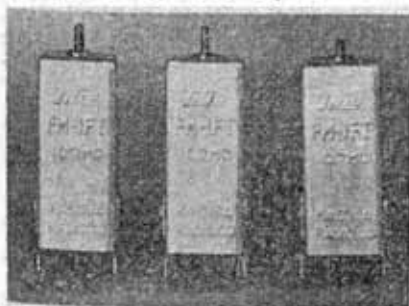
コーラルのホーン型トウィータ

型式 2H-1型。構造としてダイアフラムセンター制動方式を採用し、その径は2"で主な規格をあげると再生周波数帯域：1,500~16,000c/s，クロスオーバー：3,000c/s，出力音圧レベル：108dB，最大許容入力20W，VCインピーダンス：16Ω，総磁束：39,600 マックスウエル，磁束密度：13,000 ガウス。正価：5,400円。



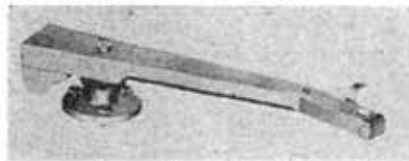
トリオのFM用IFTトランス

FMチューナ自作者のために発売されたもので型名 R-10.7，3本1組でIFT 2本，デスクリ・トランス1本の構成。帯域幅：±100kc，デスクリの帯域幅：300kc，100%変調まで1%以下の重率のチューナができる。



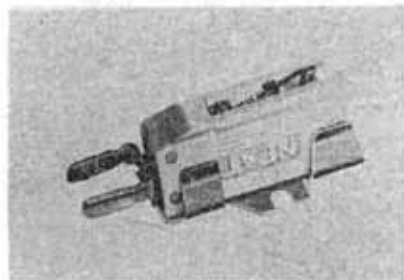
ニートの16"用トーン・アーム

16"のプロフェッショナルブオイルダンプで従来価格の点で普及されなかった点を止装置をはずして普及型としたもの。型式：GA-10 正価：4,700円。



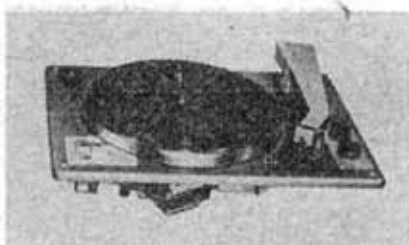
ニートのXter・カートリッジ

LP (SP) 専用のクリスタル：カートリッジで主な規格は出力：0.7V 50 mm/sec，1MΩ 負荷，レスポンス：30~15,000c/s，針圧：LP 6g。型式：C-102。正価：1,150円。



ニートの4スピード・プレーア

型式 TP-88 型。主な規格はフォノモータ：4極インダクションタイプ，電力：9W，回転数：16 $\frac{2}{3}$ ，33 $\frac{1}{3}$ ，45，78 r. p. m.，速度微調：15% (マグネチック)，ピックアップ：ロネットターンオーバー，出力：LP 0.7V，SP 1.0V，レスポンス：40~14,000c/s，針圧：6~8g。正価：4,900円。



ナショナル4スピード・プレーア

型式 TU-22型。主な規格はフォノモータ：リムドライブ型，電源：AC 100V 50~60c/s，回転数：16 $\frac{2}{3}$ ，33 $\frac{1}{3}$ ，45，78 r. p. m.，回転数調節範囲：20%，回転ムラ：0.35%以内，ターンテーブル：10" 1kg，ピックアップ：クリスタルターンオーバー方式，出力電圧：LPSPとも2.5V，100mm/sec，負荷抵抗 500kΩ，周波数：30~15,000

針圧：6~8g，正価：9,500円。

CECの4スピード・フォノモータ

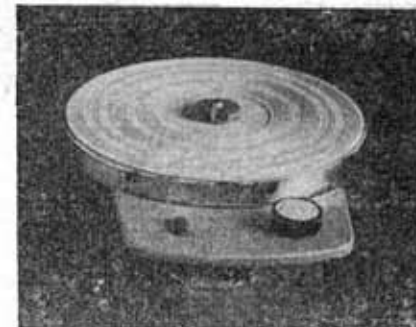
型式 OFR-216 型。すべてのピックアップが取り付けられ，電源スイッチは速度切替つまみと連動になっている。主な規格は電源：80~110V 50~60c/s，12.7VA，モータ：4極インダクション型，回転数：16 $\frac{2}{3}$ ，33 $\frac{1}{3}$ ，45，78 r. p. m.，速度微調整範囲：±10%，WO



W：0.25%，S/N：40dB，ターンテーブル：10" プレス 1.3kg，寸法：282×380 上 40 下 90mm，重量：6kg。

KSの4スピード・フォノモータ

型式 L-50 型。スピードの切替は回転式になっており，電源スイッチにマイクロスイッチを使用している。主な規格は電源：100V 50~60c/s，WO/W：0.3%以下，ゴロ：+8dB，ハムレベル：-55dB，SN比：-35dB，ターンテーブル：10" 鉄板 0.9kg，ボード寸法：205×180×1.6mm，正価 5,200円。



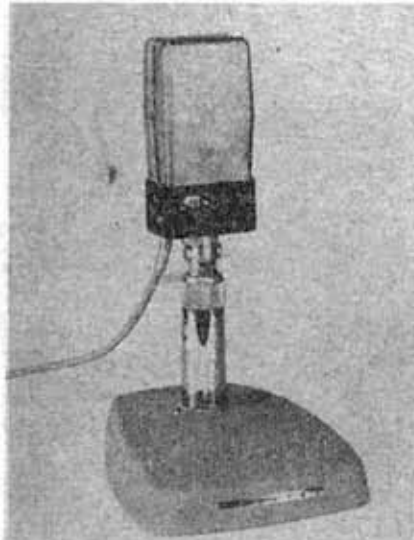
杉本電器のノイズ・アレスタ

外部の電機器具から発生する高周波電流が電灯線を伝わってラジオやTVにはいるのを防止したもので取付は極めて簡単になっている。写真は 250V 10A まで使用できるもの。(東京都品川区小山3~14 杉本電器株式会社)



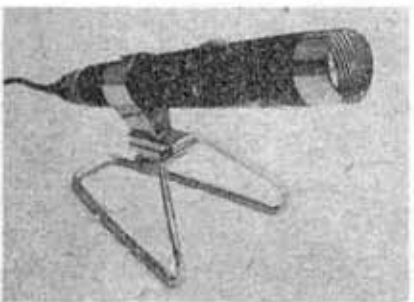
東芝のペロシティ・マイク

型式C型、従来のペロシティ・マイクの長所をそこなわずに小型軽量安価にしたもので主な規格は感度： -73dB 600Ω 、 -54dB $50\text{k}\Omega$ 、周波数範囲： $50\sim 10,000\text{c/s}$ 、指向性：双指向性、インピーダンス： 600Ω 、 $50\text{k}\Omega$ 、重量： 700g 、正価： $8,000\text{円}$ 。



松下通信工業のダイナミックマイク

対話、会議、講演会用に設計されたもので型式はDM-4、DM-5型。主な規格をあげると出力インピーダンスおよび感度：DM-4型が 600Ω -59dB $\pm 3\text{dB}$ 、DM-5型が $20\text{k}\Omega$ -75dB $\pm 3\text{dB}$ 、周波数特性： $150\sim 4,000\text{c/s}$ で 10dB 、 $70\sim 8,000\text{c/s}$ で 15dB 、ボイスコイル直流抵抗： $12\sim 14\Omega$ 、寸法： $34\phi \times 180\text{mm}$ 、重量： 230g 、正価： $3,430\text{円}$ 。



その他

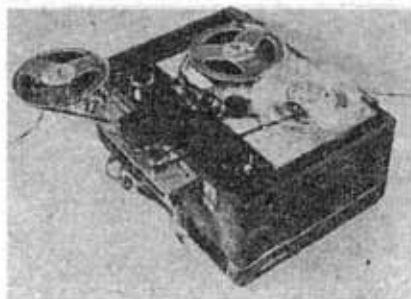
東芝のTRメガホン

トランススタを使用した電気メガホンでマイクとスピーカ部は分離できるので一般の拡声装置としても使用できる。主な規格は出力： 2W 、自動切込距離： 300m 以上、消費電力： 2W のとき 6V 0.5A 以下、入力客のときは 6V 0.1A 以下、周波数特性： $500\sim 5,000\text{c/s}$ で $\pm 5\text{dB}$ 、重量： 2.5kg 、正価： $31,500\text{円}$ 。



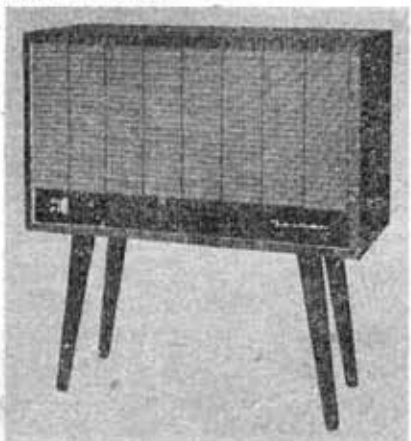
ソニーのモノブリンター

録音済みのテープをもとにしてリプリントしたときは今まで2台のテレコを使用していたがこのモノブリンターを使うと1台のテレコでリプリントできる。2本のテープを同時に送るため回転ムラによるWOWはなく、特殊なキャプスタンとピンチローラで7 $\frac{1}{2}$ "で録音されたテープを3 $\frac{1}{2}$ "にリプリントすることもできる。またこの反対もできる。型式はMP-1。正価： $6,550\text{円}$ 。



タイヘイの6 $\frac{1}{2}$ "用バスレフ

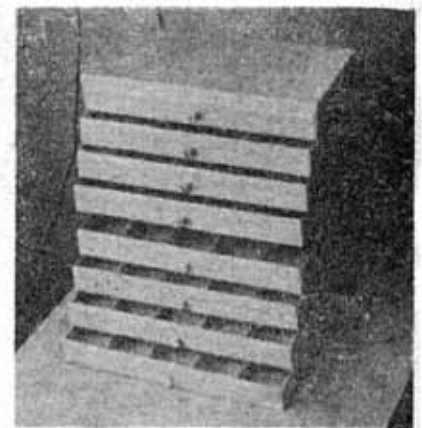
型式MB-2型、Hi-Fi 6 $\frac{1}{2}$ "スピーカ用に設計されたもので、丸脚の採用によって和洋室どちらにもむくようにしたもの。また市販されている6 $\frac{1}{2}$ "スピーカのすべてに合うようにスピーカ・ボックスの共振周波数を最高点にしてある。タイプ：位相反転型、内容積： $22,000\text{cm}^3$ 、幅： 520mm 、高さ： 300mm 、奥行： 230mm 、脚： 250mm 、正価： $2,700\text{円}$ 。



電波堂のパーツ・ボックス

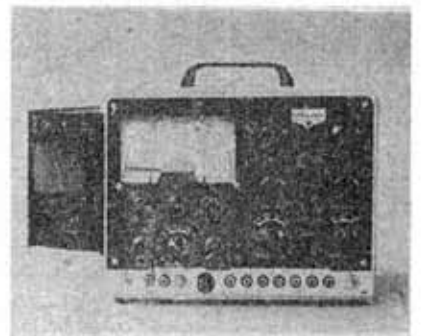
抵抗やコンデンサの整理に小物部品
の保護に選した金属製キャビで7区切

4段となっている。写真はこれを2つ重ねたもので1個の寸法は $150 \times 270 \times 130\text{mm}$ 。正価： $1,659\text{円}$ 。



ハンセンの3"オシロスコープ

6Mcのアンプを有する3"オシロで型式は396型、主な規格をあげると垂直増幅器： $10\text{c/s}\sim 6\text{Mc}$ $\pm 3\text{dB}$ 、感度： $80\text{mV}\cdot\text{cm}$ 、水平増幅器： $10\text{c/s}\sim 400\text{kc}$ $\pm 3\text{dB}$ 、感度： $0.4\text{V}/\text{cm}$ 、スイープ周波数： $10\text{c/s}\sim 500\text{kc}$ 、同期方式：内部、外部、電線同期、輝度変調可能、発振周波数： $10\text{c/s}\sim 1.6\text{Mc}$ 、出力波型：低周波に対し锯齿状波、矩形波、混交調波、高周波に対してAM変調、FM変調、ブラウン管：3RP1、寸法： $260 \times 120 \times 135\text{mm}$ 、重量： 5.7kg 、正価： $45,000\text{円}$ 。



臨時増刊第14集

電蓄の回路設計 と製作

主要執筆者

北野進
百瀬了介
宮崎源太郎

定価 300円(〒20)